

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年4月1日】第202号



新年度がはじまります

農大稲花小では、本年度も教職員が心を合わせ、教育の理念「冒険心の育成」を具現化するために、「10の能力」を教育の指標として、子どもたちの教育を行ってまいります。学校では子どもたちが毎日の生活の中で、共に学び合い、共に育っていくことを大切にしています。偏差値などでも表すことのできる認知的な学力だけでなく、体験型の授業を含めた様々な学習の場において、非認知的な学力・能力をも伸ばすことに力を注いでいます。テストの点数のみに執着すること、先取り学習、詰め込み的な勉強は、本校の目指すところとは違います。興味・関心をもって学び、考えを深め、生涯にわたって学び続ける子ども、学びを楽しみと思う子どもを育ててまいります。小学校から併設校への進学を視野に、ゆとりある学習を可能にする一貫教育の良さを活かして教育を進めることとしています。同時に、家庭学習の習慣、食事あるいは登下校マナーを含めた日常生活については、ご家庭でまずご指導いただくことと考えます。保護者の皆様には本校の方針をご理解いただき、学校と一致して子どもたちの成長を応援していただきますようお願いいたします。

短い春休みでしたが、すっかりリフレッシュした子どもたちが、新しい学級、新しい担任との出会いを楽しみに、始業式に登校してくることを期待しています。

4月6日(土)の入学式には新たに72名の新生を迎えて、4月8日(月)の始業式には1年から6年生がはじめてそろそろ農大稲花小の2024年度1学期が始まります。

オーストラリア短期留学

4年生の希望者35名は3月20日から30日まで、引率者2名とともにオーストラリア短期留学に行きました。

まず何より、大切なお子様を10歳という年齢で、オーストラリアに送りだして下さった保護者の皆様に感謝します。また、子どもたちを受け入れて下さったホストファミリー、2つの小学校の先生方そしてバディの子どもたちにも、心からのお礼を言いたいと思っています。とくに今年度の訪問で校長は、Golden Beach State School および Nambour State College と、農大稲花小の間で、Friendship School の調印をしました。本校の子どもたちがお世話になるだけでなく、本校にも両校の子どもたちの短期訪問を受け入れる可能性がでてきました。その日が楽しみです。

子どもたちは5日間、毎朝ホストファミリーに送られて登校し、Golden Beach State School では1つの、Nambour State College では、4つのクラスに分かれて、授業や活動に参加しました。引率教員はそれぞれの学校の先生方にほぼすべてをお任せし、本校の子どもたちがバディとともにオーストラリアの小学校生活に溶け込んでいく様子を見ていました。学校、ホストファミリー、あるいは本校の子どもたちの発達の度合いや性質によって、体験や感想は違うものになったことでしょう。しかし、子どもたちは、英語を聞き、使い、新しい環境に慣れよう、楽しく

過ごそうと努力していたことは立派でした。最後の日、準備した日本紹介の英語プレゼンテーションや歌・ダンスを披露し終わった子どもたちの顔は、やり遂げたという喜びに満ちていましたし、こうすればよかった！と次に向けての気持ちが湧いていた様子も素晴らしいものでした。

本校の教育理念は「冒険心の育成」です。オーストラリア短期留学の間、毎日、驚いたり、喜んだり、寂しかったり、はしゃいだり、そして英語にも取り組んだり、様々な経験をした本校の子どもたちは、その経験を通して大きく成長し、冒険心を養ったことと思います。自分に足りないところを知り、ひそかな新たな決意があったかもしれません。オーストラリア短期留学が、将来にわたって子どもたちの大きな成長の糧になることは間違いないでしょう。

農大稲花小の一員として

オーストラリアでお世話になった小学校では「I am a learner」「I am respectful」そして「I am safe」というフレーズが大切にされていました。とくに、learnerという言葉はよく使われているようです。自分自身がよい学び手であるように努力するだけでなく、友だちの学びを邪魔せず、助け合う人、学びに積極的にかかわる人であることを求めるものです。これは、本校の子どもたちにも大切です。体調を整えて元気に登校し授業に臨む、持ち物を忘れずに準備よく授業に臨む、姿勢よく座り話し手の方を見て話を聞く、誰の意見であれ前向きに受けとめ、相手のよいところを尊重する、その上で自分の意見をしっかりと伝える、学んだことを家庭できちんと復習するなど、「I am a learner」としての意識をもって学校生活を過ごしてほしいと願っています。

新しい先生 新しい友だち

新年度、専任教員が1名、嘱託教員が3名着任し、そのほかにも図画工作の講師2名と音楽の講師が1名、そして英語講師2名が新たに、本校の児童たちの指導にあたることになりました。また、全学年で学級を再編し、新たな学級担任と学年担任を決めました。

入学式や始業式を前に、どのような学級になるのか不安に思っている子どももいるかもしれません。保護者の皆様には、新しい先生や新しい学級の友だちと会えることを楽しみに思えるよう、子どもたちを導いていただければと思います。新しい先生や新しい学級、新しい友だちとスタートする新年度は、新しい自分を創りだすにも最適な時期です。お子様が自分自身の良いところを伸ばすとともに、なりたい自分になっていこうとする決意をもって新しい自分になるよい機会ではないでしょうか。

私たち教職員も、子どもたちの決意や気持ちを大切に、子どもたちの成長を助けてまいります。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子